Ⅲ　地域保健課の業務概要

地域保健課は、管内市町及び関係機関と連携を図りながら、住民の健康づくり及び効果的な保健福祉サービスの推進に努めている。

１　保健師関係指導事業

保健師は地域保健課・健康生活支援課に配置され、家庭訪問等個別指導を実施するとともに、所内及び市町の保健師活動の窓口として調整・支援を行っている。管内保健師活動の把握と資質向上のため、研修会や会議等を開催した。

２　母子保健事業

管内の母子保健事業の推進と、適切かつ効果的なサービス提供を目的に、各市町、関係機関等と連携をとりながら、母子保健推進協議会、母子保健連絡会議、長期療養児支援、親と子の心の相談などを実施した。

３　成人・老人保健事業

管内の健康づくり推進員等を対象に、がん検診推進員育成講習会を実施し、生活習慣病予防の啓発普及に努めた。

４　一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援充実を図ることを目的に健康相談を実施した。

５　総合的な自殺対策推進事業

平成 28 年 4 月自殺対策基本法の改正により、都道府県及び市町村は、地域自殺対策計画を策定している。当センターでも地域の実情に応じた対策を実施するための支援と、市町との連携を強化することで、自殺対策に理解のある地域づくりを推進している。

６　地域・職域連携推進事業

生活習慣病予防と健康寿命の延伸を図るために、地域保健と職域保健の関係者が連携し、地域の健康課題の解決に向けて、事業を展開している。

令和 7 年度から 3 年計画で、「身体活動量の増加による生活習慣病の発症・重症化予防」に取り組み、地域・職域連携推進協議会及び作業部会をそれぞれ開催し、普及啓発のためのリーフレットの作成や地域の実態把握のためのアンケート調査の検討、出前講座による健康教育等を行った。

７　栄養改善事業

生活習慣病予防と望ましい食生活の普及・定着を図るため、健康教育・栄養指導等を実施した。給食施設指導では、利用者の健康づくりを目的とした食事が提供されるよう、各給食施設に対し巡回指導を実施した。併せて、給食施設管理者及び従事者を対象とした講習会を開催し、衛生管理の徹底と栄養管理の向上に努めた。

８　歯科保健事業

県民の生涯を通じた切れ目のない歯・口腔の健康づくりの推進を図るため、80 歳になっても 20 本以上の歯を保つことを目標とする８０２０（ハチマル・ニイマル）運動の普及啓発等を行った。

９　精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、申請・通報・届出等に係る法施行業務を実施した。

また、住民の心の健康の保持増進を図るため心の健康相談や訪問指導、精神障害者家族支援を通し、地域の自助グループの育成を図った。関係機関、関係職種との連携を深めるため各種会議等に参画した。

１０　肝炎治療特別促進事業

平成 24 年 4 月に千葉県肝炎対策推進計画が策定され、平成 27 年より肝炎ウイルス検査実施後のウイルス性肝炎陽性者を、早期に治療につなげ重症化予防を図ることを目的として、千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業が開始された。また B 型ウイルス性肝炎及び C 型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成 20 年度より医療費助成制度が開始された。

１１　肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B 型・C 型肝炎に起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、治療効果、生命予後や生活の質を考慮し、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進することを目的に実施している。

１２　難病対策事業

特定医療費（指定難病）支給認定申請事業においては、348 疾病（令和 7 年 4 月 1 日現在）を対象に自己負担の軽減を図っている。

難病相談事業においては、患者・家族が抱える医療や療養生活上の問題等に対して、保健師・難病訪問相談員による訪問等を実施し、安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質の向上に努めた。また、管内のケアマネージャー等支援者の資質向上を図れるよう研修会を実施した。

１３　受動喫煙対策

改正健康増進法により、令和元年 7 月 1 日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となり、令和2年4月1日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、普及啓発に努めた。

１４　市町支援

各市町が開催する健康づくり推進協議会や地区組織育成等に参加し、広域的見地から市町事業が円滑に推進できるよう支援を行った。

また、児童虐待への対応として市町が設置している要保護児童対策地域協議会の代表者会議や実務担当者会議、個別支援会議に母子保健を担う立場で参画した。

1　保健師関係指導事業

地域保健活動の推進のため、管内保健師や関係機関と連携を図り、研修会等を通して資質向上と連携強化を目指して現任教育に取り組んでいる。

（１）管内概況

管内保健師の就業状況は、表１－（１）のとおりである。近年は保健衛生部門だけでなく、他部門への配置が増えつつある。

表１－（１）管内保健師就業状況（令和７年４月１日現在）

（単位：人）

区分／年度	総数	保健所	市町村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
令和５年度	70	8	49	－	11	2
令和６年度	76	10	50	1	12	3
令和７年度	76	11	50	2	11	2
東金市	14	－	12	－	2	－
山武市	16	－	13	－	3	－
大網白里市	16	－	13	－	3	－
九十九里町	5	－	3	1	－	1
芝山町	6	－	4	－	2	－
横芝光町	8	－	5	1	1	1

（２）保健所保健師活動

保健師は地域保健課と健康生活支援課に所属しており、家庭訪問、面接、電話やメールで保健指導を行っている。

表１－（２）家庭訪問等個別指導状況（令和８年３月31日現在）

（単位：件）

区分／種別		家庭訪問		訪問以外の保健指導				個別の連携・連絡調整
				面接		電話	メール	
		実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数（再掲:会議）
総数		46	204	409	442	392	0	536 (4)
感染症（結核除く）		8	15	2	2	57	0	186
結核		12	141	3	7	107	0	128 (2)
精神保健福祉		0	0	6	6	4	0	4
難病		24	43	298	326	115	0	120
長期療養児		1	4	11	12	10	0	21 (2)
生活習慣病		0	0	0	0	0	0	0
母子保護	妊産婦	0	0	0	0	0	0	0
	乳幼児	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	8	0	27
その他の疾病		0	0	1	1	3	0	16
その他		1	1	88	88	88	0	34
訪問延世帯数		46	204					

（３）保健師関係研修（研究）会実施状況

ア　管内保健師業務連絡研究会

表１－（３）－ア　管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主　な　内　容	参加人員
令和７年 ６月２日	令和７年度保健師活動計画	1　令和７年度管内保健師業務連絡研究会実施計画について 2　保健所及び管内市町の令和７年度保健師活動計画及び重点活動、質疑応答 3　災害時保健活動と「初動報告」の共有	43名
令和７年 ８月29日	災害時保健活動	1　講演 「災害時保健活動 －発災後１週間に焦点をあててー」 講師　千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 准教授　雨宮　有子　氏 2　演習　災害時シミュレーション	27名
令和７年 10月８日	個別支援能力の向上	1　講演 「個別支援能力の向上 ～今事例の支援の方向性を導く事例検討～」 講師　千葉大学大学院看護学研究院 看護学研究科・看護学部 講師　飯野　理恵　氏 2　演習	25名

イ　所内保健師研究会

表１－（３）－イ　所内保健師・看護師研究会実施状況

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和７年 ４月14日	1　令和７年度保健師の現任教育について 2　令和７年度保健活動・保健事業計画について 3　保健活動業務研究について 4　その他（活動実績及び計画の入力・学生実習等）	12名
令和７年 ６月20日	1　災害時要支援者（人工呼吸器・人工心臓装着者）の情報共有 2　在宅人工呼吸器装着者等への災害対応及び意見交換 3　「ちば情報マップ難病患者等要支援者マップ」について 4　事例検討 5　その他	13名

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和７年 ７月 18 日	1　在宅人工呼吸器装着者の災害対応について 2　保健活動業務研究について 3　統括保健師配置に関する経過報告（所長会）について	10 名
令和７年 ９月 19 日	1　結核患者の共有 2　結核患者事例検討 3　その他	11 名
令和７年 11 月 10 日	1　保健師業務研究集録について 2　千葉県統括保健師及び千葉県統括保健師の配置に関する要綱の制定について	11 名
令和８年 １月 16 日	1　事例検討（難病） 2　その他	12 名
令和８年 ３月２日	1　保健活動・保健事業計画の評価について 2　その他	９名
令和８年 ３月 10 日	1　保健活動・保健事業計画の評価について 2　その他	10 名

ウ　保健所保健師ブロック研修会

表１－（３）－ウ　保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和８年 ２月９日	1　講演　「セルフ・コンパッションを保健活動に活かす」 講師　武蔵野大学　ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科　　教授　秋山　美紀　氏 2　グループワーク・情報交換	19 名

エ　その他

表１－（３）－エ　その他

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和７年 ４月 15 日	管内新任期保健師・栄養士の情報交換会 1　学生合同講義の受講 2　参加者自己紹介・情報交換	11 名

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和7年 9月16日	山武保健所管内災害時保健活動情報伝達訓練 千葉県北西部直下型地震が起き、管内市町震度6弱の想定 1　所内訓練（要支援者の安否確認、避難所支援活動等の準備、EMISの確認等） 2　管内情報伝達訓練（初動・日報・応援要請の報告受理等）	9名
令和7年 10月24日	山武保健所管内災害時保健活動責任者・担当者会議 1　発災時の手順の確認 2　災害時保健活動の平時の準備 3　災害時保健活動情報伝達訓練の結果 4　災害時保健活動における課題の検討・意見交換 5　災害時の栄養・食生活支援活動アクションカード	14名
令和7年 10月24日	管内保健師現任教育責任者・担当者会議 1　管内保健師の配置状況 2　現任教育体制 3　現任教育に関する取り組みの現状と課題 4　保健師連絡会・事例検討・事業評価の取組 5　人材確保に向けた情報交換	11名
令和8年 1月6日	管内新任期保健師研修会 1　保健活動紹介 2　全体会 3　情報交換・交流会	15名
令和8年 1月13日	管内中堅期保健師研修会 1　講話　「先輩保健師からのメッセージ」 講師　山武保健所　地域保健課　課長　菱沼　知恵　氏 2　グループワーク 「中堅期保健師に期待される役割とモチベーション」	10名

（4）管内看護管理者研修会

表1－（4）看護管理者研修状況

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和8年 1月23日	講演　「ここで働きたいと思う部署づくり」 講師　千葉県循環器病センター 看護局長　　渡辺　優子　氏	34名

２　母子保健事業

管内の母子保健事業の推進と適切かつ効果的なサービス提供を目的に、各市町、関係機関等と連携を図りながら母子保健推進協議会、母子保健連絡会議や長期療養児支援、親と子の心の相談などを実施した。

（１）母子保健推進協議会

管内における母子保健施策の効果的な推進を図るため、管内市町や関係機関等と管内の母子保健の課題について協議する。

表２－（１）母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委　員　数	主　な　協　議　内　容
令和８年 １月 23 日	14 名	・母子保健の現状 ・管内母子保健事業の実施状況 ・妊娠期から切れ目のない支援を効果的に行うための母子保健・医療・福祉の連携

（２）母子保健に関する連絡調整会議

管内産科医療機関と市町母子保健担当者との連携を図り、効果的な母子保健事業の推進を図ることを目的に会議を開催。

表２－（２）母子保健に関する連絡調整会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主　な　協　議　内　容
令和７年 ９月８日	22 名 市町保健師、医療機関助産師・社会福祉士等	・母子保健事業及び家庭支援事業の実施状況 ・リスクのある母子への母子保健・医療・福祉の連携について

（３）母子保健従事者研修会

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の実現に向け、市町保健師等、母子保健従事者が必要な知識を身につけるための研修を実施し、資質の向上を図る。

表２－（３）母子保健従事者研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内　　容
母子保健従事者研修会 （思春期保健従事者講演会と共催）	令和７年 ８月８日	28 名 市町保健師、助産師、保育士、教員、養護教諭、家庭児童相談員、事務職	講演「思春期に発症しやすい精神疾患の理解と支援」 講師　千葉県精神保健福祉センター 技監兼次長　石川　真紀　氏
母子保健従事者研修会	令和８年 １月８日	17 名 市町保健師、助産師、保育士、教員、相談支援員、社会福祉士、管理栄養士、事務職	講演「こども家庭センターの一体的支援実施にむけた取り組み」 講師　南房総市　教育委員会　子ども教育課 子ども家庭支援室　統括支援員

（４）人工妊娠中絶届出

母体保護法第 25 条により管内の医師から届出があった人工妊娠中絶実施報告書に基づく妊娠週数・年齢階級別届出状況である。

表２－（４）人工妊娠中絶届出状況

（単位：人）

区分 / 妊娠週数	令和5年度	令和6年度	令和7年度 総数	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳以上	不詳
総数	12	11	15	3	2	2	2	5	1	0	0	0
満7週以前	3	3	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0
満8週～満11週	5	5	8	2	2	1	2	1	0	0	0	0
満12週～満15週	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
満16週～満19週	0	0	4	0	0	0	0	3	1	0	0	0
満20週～満21週	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（５）不妊・不育相談事業

不妊や不育に悩む夫婦等に、随時、面接や電話等により相談支援を行っている。

（６） 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

小児慢性特定疾病医療費助成制度は、慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児童等の 健全な育成を図るため、16 疾患群 801 疾病（令和 7 年 4 月 1 日現在）を対象に、その治療に対する研究等に資する医療の給付を実施する制度である。管内においては悪性新生物、内分泌疾患、慢性 消化器疾患が多くみられている。

表２－（６）小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況（各年度 3 月 31 日現在）

（単位：件）

疾患名		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	東金市	山武市	大網白里市	九十九里町	芝山町	横芝光町
総数		90	83	74	16	18	18	4	4	14
1	悪性新生物	12	15	15	2	2	5	0	2	4
2	慢性腎疾患	10	9	8	5	0	2	1	0	0
3	慢性呼吸器疾患	2	1	2	0	1	0	1	0	0
4	慢性心疾患	7	7	5	0	2	1	0	1	1
5	内分泌疾患	12	10	9	1	1	3	1	0	3
6	膠原病	7	4	3	1	2	0	0	0	0
7	糖尿病	5	4	3	1	2	0	0	0	0
8	先天性代謝異常	1	1	1	0	0	1	0	0	0
9	血液疾患	2	1	1	0	1	0	0	0	0
10	免疫疾患	2	3	4	1	0	1	0	0	2
11	神経・筋疾患	4	2	4	1	0	2	0	0	1
12	慢性消化器疾患	17	16	14	3	5	2	1	1	2
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	5	5	2	1	0	0	0	0	1
14	皮膚疾患	1	2	1	0	1	0	0	0	0
15	骨系統疾患	3	3	2	0	1	1	0	0	0
16	脈管系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（７）小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

児童福祉法第 19 条の 22 の規定に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行う。

ア　研修会、講演会、交流会等

表２－（７）－ア　研修会、講演会、交流会等の実施内容

名　　称	実施年月日	参加人数・内訳	内　　容
実施なし			

イ　療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表２－（７）－イ　療育相談指導内容　（単位：人）

内　　容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
相談者数（延）	0	0	0
家庭看護指導	0	0	0
食事・栄養指導	0	0	0
歯科保健指導	0	0	0
福祉制度の紹介	0	0	0
精神的支援	0	0	0
学校との連絡	0	0	0
家族会等の紹介	0	0	0
その他	0	0	0

ウ　訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表２－（７）－ウ　訪問指導事業実施状況（疾患別）　（単位：件）

疾患名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数	1	3	1
気道狭窄	0	3	0
チャージ症候群	1	0	0
喉頭軟化症	0	0	1

エ　窓口相談事業

表２－（７）－エ　相談内容　（単位：人）

内　　容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
相談者数（延）	16	18	12
申請等	12	15	10
医療	1	0	1
家庭看護	1	0	0
福祉制度	2	0	0
就労	0	0	0
就学	0	2	0
食事・栄養	0	0	0
歯科	0	0	0
その他	0	1	1

オ　訪問相談員派遣事業

表２－（７）－オ　訪問相談員派遣事業実施状況

区分／年度	人　数	回　数	実人員	延人員
令和５年度	0	0	0	0
令和６年度	0	0	0	0
令和７年度	0	0	0	0

（８）療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第21条の9）は、結核で長期療養を必要とする児童を指定医療機関に収容して医療給付を行う他、学用品や日用品給付を行う。令和７年度の申請はなし。

（９） 思春期保健相談事業

児童生徒の健全育成を図るため、学校保健や地域保健との連携及び思春期世代とその関係者への心身に関する正しい知識の普及を行う。

表２－（９）－ア　思春期保健関係者会議実施状況

名　称	開催年月日	参加者数・職種	内　容
実施なし			

表２－（９）－イ　思春期保健事業講演会

名　称	開催年月日	対象者・参加者数	内　容
思春期保健従事者講演会 （母子保健従事者研修会と共催）	令和７年 ８月８日	28 名 市町保健師、助産師、保育士、教員、養護教諭、家庭児童相談員、事務職	講演「思春期に発症しやすい精神疾患の理解と支援」 講師　千葉県精神保健福祉センター 技監兼次長　石川　真紀　氏

表２－（９）－ウ　思春期保健事業個別相談

名　称	開催回数	相談件数	対象者	内　容
親と子の心の相談	４回	４件	妊産婦、幼児、児童等	妊産婦、幼児、児童等の心の問題に対して医師、臨床心理士等による個別相談、支援を実施。

３　成人・老人保健事業

がん検診の受診率向上のため、各市町健康づくり推進員等を対象に講習会を開催した。

（１）がん検診推進員育成講習会

各市町の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより、受診率の向上を図る。

表３－（１）がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内　　容
令和８年 ２月３日	印旛及び山武保健所管内市町保健推進員等 34名	講演「胃がん検診・大腸がん検診について」 講師　公益財団法人ちば県民保健予防財団 診療部消化器担当部長　山口　和也　氏

※印旛保健所と輪番で実施。令和７年度は、山武保健所が担当。

４　一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援充実を図ることを目的に健康相談を実施している。

表４　健康相談実施状況（電話）

（単位：件）

区分／年度	男	女	総　　数
令和５年度	3	11	14
令和６年度	2	11	13
令和７年度	4	15	19

５　総合的な自殺対策推進事業

管内の自殺者数は減少しているが、自殺死亡率は全国や千葉県と比較して高い状態が続いている。地域の実情に応じた対策を実施するための支援と、市町と連携対策を強化することで、自殺対策に理解のある地域づくりを推進している。

（１）住民向け講演会・相談対象者向け研修会

表５－（１）研修会の実施状況

名　　称	実施年月日	参加者数・職種	内　　容
実施なし			

（２）その他の会議等

表５－（２）会議等の開催状況

名　　称	実施年月日	参加者数・職種	内　　容
実施なし			

６　地域・職域連携推進事業

生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備し、生活習慣病等の予防を図ることを目的として、地域保健・職域保健の関係者が情報を共有し、健康課題を抽出し、共同で保健事業を実施していくために、管内の関係機関の代表等を構成員とした山武地域・職域連携推進協議会を開催した。

令和 7 年度から 3 か年計画で、「身体活動量の増加による生活習慣病の発症・重症化予防」に取組んでおり、協議会を 1 回、作業部会を 2 回開催し、普及啓発のためのリーフレットの作成や地域の実態把握のためのアンケート調査の検討、出前講座による健康教育等を行った。

表６－（１）山武地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主　な　内　容
令和 7 年 12 月 22 日	24 名	「身体活動量の増加による生活習慣病の発症・重症化予防」 1　今年度からの取組計画案について 2　啓発媒体について 3　評価指標案について

表６－（２）山武地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主　な　内　容
令和 7 年 7 月 31 日	12 名	「身体活動量の増加による生活習慣病の発症・重症化予防」 1　身体活動量の増加に向けた関係機関の取組状況と課題について 2　今年度からの取組計画案について 3　啓発媒体の素案について
令和 8 年 3 月 2 日	18 名	「身体活動量の増加による生活習慣病の発症・重症化予防」 1　令和 8 年度取組計画について 2　事業所アンケート調査について 3　健康づくりに関する出前講座について 4　取組報告

表６－（３）共同事業開催状況

開催年月日	主　な　内　容
啓発資料作成・配布 令和７年４月～ 令和８年３月	「身体活動量の増加による生活習慣病の発症・重症化予防」 ・リーフレットの作成並びに配布及びホームページ掲載 配布先：協議会委員、作業部会委員、医師会等関係機関及び団体 「お住まいの市町の健康に関するサービス一覧」 ・管内市町、協会けんぽ、JA の健診(検診)案内の作成並びに配布及びホームページ掲載 配布先：協議会委員、作業部会委員、医師会等関係機関及び団体
事業所向け健康教育 令和７年４月～ 令和８年３月	健康教育計７回（延べ 304 名） 参加者：東金労働基準監督署管轄地域内事業所 全国安全週間説明会及び全国労働衛生週間説明会の参加者 内　容：フレイル予防や身体活動量の増加のための取組について紹介

7　栄養改善事業

住民の健康の保持増進を図るため、栄養改善・健康づくりに関わる各種事業を実施した。

（１）健康増進（栄養・運動等）事業

地域住民に対し、健康増進（栄養・運動等）指導を通じライフステージに応じた正しい生活習慣の普及啓発を図り、健康意識の向上に努めた。

表７－（１）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	（再掲）病態別栄養指導	（再掲）訪問による栄養指導	運動指導	（再掲）病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	（再掲）病態別栄養指導	運動指導	（再掲）病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	乳幼児	－	－	－	＼	＼	＼	＼	－	－	－	＼	＼	＼	＼	－
	２０歳未満（妊産婦・乳幼児を除く）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	２０歳以上（妊産婦を除く）	1	1	－	－	－	－	－	－	394	209	154	－	－	96	－
（再掲）医療機関等へ委託	妊産婦	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	乳幼児	－	－	－	＼	＼	＼	＼	－	－	－	＼	＼	＼	＼	－
	２０歳未満（妊産婦・乳幼児を除く）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	２０歳以上（妊産婦を除く）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

ア　病態別個別指導

表７－（１）－ア　病態別個別指導状況　　（単位：人）

区分／種別	計	生活習慣病	難　病	ｱﾚﾙｷﾞｰ疾 患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	1	－	1	－	－	－
病態別運動指導	－	－	－	－	－	－

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・脂質異常症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ　病態別栄養教室・講座等実施状況

表７－（１）－イ　病態別栄養教室・講座等実施状況

名　称	開催年月日	対象者	参加数	内　　容
食と栄養の講話会	（動画配信） 令和８年 ３月２日 ～3月16日 （上映会） 令和８年 ３月13日	免疫疾患療養者とその家族	（視聴回数） 講演１　127回 講演２　 82回 （上映会） 患者６名 家族３名	講演１ 「ステロイド剤内服の注意点」 講師　成田赤十字病院 第一リウマチ・アレルギー 内科部長（医師） 平栗　雅樹　氏 講演２ 「ステロイド治療中の骨を守る食事 ～今日からできる食事のポイント～」 講師　さんむ医療センター 栄養課係長（管理栄養士） 盛　晃彦　氏

ウ　地域における健康づくり推進事業

表７－（１）－ウ　地域のおける健康づくり推進事業実施状況

名　称	開催年月日	対象者	参加数	内　　容
健康づくり研修会	令和７年 ９月22日	管内食生活改善団体の構成員等	51名 （会場49名、 オンライン2名）	１　講演 「地域ぐるみの食環境整備を目指した第一歩 ～働き世代を対象とした事例を通じて～」 講師　地域医療研究所 へき地医療研究センター 研究員（管理栄養士） 川畑　輝子　氏 ２　情報交換会

エ　国民（県民）健康・栄養調査

表７－（１）－エ　国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	芝山町	令和７年 11 月 6 日　栄養摂取状況調査・生活習慣調査 令和７年 11 月 19 日　身体状況調査

オ　特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表７－（１）－オ－（ア）食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発(集団)		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		－（－）	－(－)	－(－)	－(－)	－
食品表示基準について(保健事項)	栄　養　成　分	17	18	－	－	－
	特定保健用食品	－	－	－	－	－
	栄養機能食品	1	2	－	－	－
	機能性表示食品	－	－	－	－	－
	そ　の　他　※	－	－	－	－	－
健康増進法第 65 条第１項（虚偽誇大広告）		2	2	－	－	－
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		－	－	－	－	－

		県民への相談対応・普及啓発			
		相談（個別）	普及啓発(集団)		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		－（－）	－(－)	－(－)	－
食品表示基準について(保健事項)	栄　養　成　分	－	2	27	調理師講習会等
	特定保健用食品	－	－	－	－
	栄養機能食品	－	－	－	－
	機能性表示食品	－	－	－	－
	そ　の　他　※	－	－	－	－
健康増進法第 65 条第１項（虚偽誇大広告）		－	1	6	栄養学生
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		－	－	－	－

（　）内は、特定保健用食品再掲

※栄養成分以外の内容だった場合(特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く)

表７－（１）－オ－（イ）食品表示等に関する指導状況（表示違反への対応）

		指導状況（個別）	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について（保健事項）	栄養成分※	5(－)	6(－)
	機能性表示食品	－	－
	その他	－	－
健康増進法第65条第1項（虚偽誇大広告）		1	1
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－

※　栄養機能食品、特定保健用食品を含む　　（ ）内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表７－（１）－オ－（ウ）特別用途食品に対する検査・指導件数　（単位：件）

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
－（ － ）	－（ － ）	－（ － ）

（ ）内は、特定保健用食品再掲

カ　食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表７－（１）－カ　食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個　別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
－	－	調理師講習会等	2	72

（２）給食施設指導

管内の給食施設（121 施設）に対し、個別指導及び集団指導を実施した。

個別指導（給食施設巡回指導）において、栄養士が配置されていない給食施設に対し特に栄養管理・衛生管理についての指導強化に努めた。

集団指導として、給食施設の管理者及び従事者を対象に栄養に関する最新情報を提供し、給食施設関係者の資質の向上に努めた。

給食施設状況

表７－（２）給食施設状況　（単位：件）

施設総数	管理栄養士のみいる施設		管理栄養士栄養士どちらもいる施設			栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設	管理栄養士必置指定施設		調理師のいる施設		調理師のいない施設	栄養成分表示施設	栄養教育実施施設
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	管理栄養士数	施設数	調理師数			
121	40	56	15	32	20	28	31	38	2	6	105	242	16	120	70

ア　給食施設指導状況

表７－（２）－ア　給食施設指導状況　（単位：件）

区分			計	特定給食施設		その他の給食施設
				1回300食以上又は1日750食以上	1回100食以上又は1日250食以上	
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	59	19	28	12
		その他指導施設数	28	9	14	5
	喫食者への栄養・運動指導延人員		－	－	－	－
集団指導	給食管理指導	回数	2	2	2	2
		延施設数	144	20	98	26
	喫食者への栄養運動指導	回数	－	－	－	－
		延人員	－	－	－	－

イ　給食施設個別巡回指導

表７－（２）－イ　給食施設個別巡回指導状況

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみいる施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）
合　計		121	59	40	20	15	5	28	14	38	20
指定施設①	計	2	2			2	2				
	学校										
	病院	2	2			2	2				
	介護老人保健施設										
	介護医療院										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所										
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他										
300食/回，750食/日以上（指定施設を除く）②	計	17	17	11	11			4	4	2	2
	学校	16	16	10	10			4	4	2	2
	病院										
	介護老人保健施設										
	介護医療院										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所										
	寄宿舎	1	1	1	1						
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他										
100食/回，250食/日以上（①，②除く）	計	79	28	22	7	12	3	20	7	25	11
	学校	16	3	4		1		9	1	2	2
	病院	6	6	3	3	3	3				
	介護老人保健施設	6	1	2		3		1	1		
	介護医療院										
	老人福祉施設	16	3	9	2	5		1	1	1	
	児童福祉施設	24	10	2	1			8	4	14	5
	社会福祉施設	2		1				1			
	事業所	6	4							6	4
	寄宿舎	1								1	
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他	2	1	1	1					1	
その他の給食施設	計	23	12	7	2	1		4	3	11	7
	学校										
	病院										
	介護老人保健施設										
	介護医療院	1	1	1	1						
	老人福祉施設	9	2	5	1	1		2	1	1	
	児童福祉施設	9	8					1	1	8	7
	社会福祉施設	2		1						1	
	事業所	1								1	
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他	1	1					1	1		

ウ　給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表７－（２）－ウ　給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導　　（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	1	2	22
指導数	1	2	22

エ　給食施設集団指導

表７－（２）－エ　給食施設集団指導状況

名　称	開催 年月日	対象者	参加者数	内　容
給食施設衛生講習会	（動画配信） 令和７年 ７月１日～ ８月31日	給食施設管理者及び従事者等	80施設 311名 （視聴回数） ①383回 ②323回 ③289回	講演「給食施設における衛生管理について」（動画①～③） 講師　長生保健所食品機動監視課 食品衛生監視員
給食施設研修会	（動画配信） 令和７年 ８月15日～ ９月30日	給食施設管理者及び従事者等	68施設 114名 （視聴回数） 前編134回 後編120回	講演「日本人の食事摂取基準2025年版改定のポイントと給食施設での活用について」（動画　前編・後編） 講師　松本大学　人間健康学部 健康栄養学科 准教授　加藤　勇太　氏

（３）健康ちば協力店推進事業

表７－（３）－ア　健康ちば協力店登録状況

令和７年度登録件数			総登録件数
登録件数	変更件数	取消件数	
1	－	－	15

表７－（３）－イ　健康ちば協力店推進事業実施状況

区　分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回　数	延人員	回　数	延店舗数	延人員	回　数	延人員
個別指導	1	1	3	3	3	－	－
集団指導	11	1,006	－	－	－	1	21
合　計	12	1,007	3	3	3	1	21

（４）栄養関係団体等への育成・支援

表７－（４）栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名　称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
管内栄養士会	50 名	理事会・総会・研修会等	○理事会 令和７年４月 17 日、９月 16 日、令和８年２月 20 日 ○総会 令和７年６月 18 日 ○研修会 令和７年６月 18 日、11 月 20 日	25 名 30 名 53 名
管内松尾調理師会	120 名	研修会	千葉県調理師講習会の講師	21 名

（５）調理師試験及び免許関係

表７－（５）調理師試験及び免許取扱状況　　（単位：名）

	調理師試験			免許交付		
年　度	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
令和５年度	39	16	41.0	27	8	3
令和６年度	41	24	58.5	39	4	6
令和７年度	31	17	54.8	33	6	8

（６）その他

市町への技術・助言支援として管内行政栄養士業務検討会を開催した。

表７－（６）管内行政栄養士業務検討会の開催状況

名　称	延回数	延参加人員	主な内容
管内行政栄養士業務検討会	４回	28 名	＜事例検討・情報交換等＞ ・災害時の栄養・食生活支援活動について ・母子保健事業について

８　歯科保健事業

県民の生涯を通じた切れ目のない歯・口腔の健康づくりの推進をはかるため、80 歳になっても 20 本以上の歯を保つことを目標とする８０２０（ハチマル・ニイマル）運動の普及啓発等を行った。

（１）難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表８－（１）難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名　称	対象者	開催月日	内　容	参加人員
－	－	－	－	－

９　精神保健福祉事業

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下、精神保健福祉法）」に基づく相談業務、法施行業務を行っている。市町村・医療機関・地域の支援機関等と連携し、専門性や広域での調整を要する支援、措置入院者等の退院後支援等を行い、また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業や心身喪失者等医療観察法に関する会議等に参画し、地域精神保健福祉活動等を行っている。

（１）精神保健福祉相談関連

精神保健福祉相談員等が、措置入院に係る対応や、地域支援機関等と連携しながら、相談・訪問・電話等により、精神保健福祉に関する相談に随時応じているほか、精神科医師による定例相談も実施している。相談内容は、診療に関すること、生活支援、社会復帰、依存症、認知症等と広範にわたる。

表９－（１）－ア　精神保健福祉に関する相談対応の総数（対象者の性・年齢別）　（単位：人）

	実人員	性			年齢					延人数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
令和５年度	65(10)	32(5)	32(5)	1	3	9(2)	39(8)	7	7	336(10)
令和６年度	90(3)	47(2)	43(1)	0	11	17(2)	43(1)	15	4	276(3)
令和７年度	335(7)	178(3)	152(4)	5	29	66(3)	139(3)	51(1)	50	1,614(7)
東金市	107(3)	59(3)	48	0	8	32(2)	43(1)	13	11	508(3)
山武市	49	31	18	0	6	8	20	10	5	255
大網白里市	78(3)	37	39(3)	2	4	6	44(2)	17(1)	7	389(3)
九十九里町	31(1)	17	14(1)	0	6	10(1)	7	4	4	133(1)
芝山町	9	5	3	1	1	2	3	2	1	57
横芝光町	28	10	18	0	3	5	14	2	4	163
管外・不明	33	19	12	2	1	3	8	3	18	109
相談	51(7)	25(3)	26(4)	0	4	14(3)	23(3)	5(1)	5(1)	123(7)
訪問	49	27	22	0	5	11	25	71	1	160
電話										1,329
その他										2

※1　相談、訪問の実人員は重複あり。
※2　精神科医師による定例相談については（ ）に再掲。
※3　年齢は、当該年度の初回対応時を基準とする。
※4　令和７年度分より計上方法を変更。（通報件数含む）

表９－（１）－イ　精神科医師による定例相談

実　施　日	時　　間	場　　所
毎月　第1　水曜日	14：30 ～ 16：30	保健所（健康福祉センター）
毎月　第2　水曜日	14：30 ～ 16：30	保健所（健康福祉センター）
毎月　第4　水曜日	14：00 ～ 16：30	保健所（健康福祉センター）

※件数は、表９－（１）－ア「相談・訪問の（ ）内」及び表９－（１）－エ「医学的指導」で計上。

表９－（１）－ウ　精神保健福祉に関する相談対応の総数（相談の種別、延数別）

（単位：人）

		令和５年度	令和６年度	令和７年度	相談	訪問	電話	その他
延人数		404	280	1,614	123	160	1,329	2
精神保健福祉相談	診療に関すること	290	92	494	22	65	407	0
	社　会　復　帰	3	5	10	0	1	9	0
	生　活　支　援	64	100	230	18	39	173	0
	その他の相談	16	31	545	50	32	461	2
嗜癖関連問題に関する相談	アルコール	0	0	101	10	10	81	0
	覚　醒　剤	0	0	0	0	0	0	0
	その他の薬物	0	1	3	1	0	2	0
	ギャンブル	0	0	2	0	0	2	0
	ゲ　ー　ム	－	－	0	0	0	0	0
摂食障害の相談		0	0	45	0	3	42	0
心の健康相談		4	7	30	4	0	26	0
思春期の相談		1	10	40	2	2	36	0
老年期の相談		13	25	18	2	2	14	0
てんかん		0	0	0	0	0	0	0
うつ・うつ状態		－	－	4	0	0	4	0
その他の相談		13	8	92	14	6	72	0

※　令和７年度分より計上方法を変更。

（電話相談及びその他の対応件数、相談種別にゲーム、うつ・うつ状態の項目を追加）

表９－（１）－エ　精神保健福祉に関する相談対応の総数（援助の内容、延件数）

（単位：件）

	延件数	医学的指導	受療援助	生活支援 生活指導	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整 方針協議	その他
令和５年度	458	12	52	56	12	118	115	94
令和６年度	280	9	9	9	0	88	71	94
令和７年度	2,110	24	49	18	18	－	912	1,089

※1　援助内容は重複あり。

※2　令和７年度分より計上方法を変更。（表頭の「紹介・連絡」項目を削除）

（２） 措置入院関係

精神保健福祉法に基づく申請・通報・届出を受理し、措置診察の必要性を判断するための事前調査を行う。措置診察が必要と判断された者には、精神保健指定医による診察を実施し、措置入院もしくは緊急措置入院の要否を判断する。措置入院が必要と判断された者に対しては、入院先医療機関までの移送を実施する。

表９－（２）－ア　申請・通報・届出等に係る対応状況（条文別）

（単位：件）

	申請・通報・届出等件数	措置診察の必要がないと認めた者	措置診察実施（法第27条）		緊急措置診察実施（法第29条の2）		措置業務に係る移送業務（法第29条の2の2）		
			措置入院	措置不要	緊急措置入院	緊急措置不要	1次移送	2次移送	3次移送
令和5年度	28	16	11	0	3	1	0	0	0
令和6年度	21	13	5	1	0	2	0	0	2
令和7年度	34	19	12	1	7	1	0	0	3
法第22条 一般人の申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官の通報	19	8	9	1	7	1	0	0	3
法第24条 検察官の通報	6	3	3	0	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長の通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長の通報	9	8	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者の届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定通院医療機関の管理者及び保護観察所長の通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 通報等に基づかない診察	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 「申請・通報・届出等件数」は受理日で集計。

※2 精神保健指定医2名以上による診察を「措置診察」、緊急性が高く精神保健指定医1名による診察を「緊急措置診察」とする。

※3 緊急措置入院後は、原則として措置診察を実施することとなるが、緊急措置入院中に措置症状消退となることもある。

※4 措置不要には、措置入院以外の入院や入院にならなかった者を含む。

※5 1次・2次移送は、措置診察実施場所までの移送、3次移送は措置入院先医療機関までの移送。

表９－（２）－イ　申請・通報・届出に係る対応状況（性別・年齢別）　【再掲】

（単位：人）

	人員	性			年齢					延人数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	13	10	3	0	1	2	7	3	0	41
電話										260
その他										0

※年齢は、当該年度の初回対応時を基準とする。

（３）精神障害者の退院後支援

措置入院者等に対しては、平成30年に厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長から発出された「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」を元に、千葉県で作成した「精神障害者の退院後支援マニュアル」に基づき、帰住予定地を管轄する保健所が退院に関する支援を行う。同マニュアルに基づく支援の対象外とした者については、通常対応として支援を行う。

表９－（３）－ア　精神障害者の退院後支援に係る対応状況

（単位：人・件）

	支援対象者	支援計画作成あり	会議開催数
合計	12	0	0

※1　支援対象者とは措置入院をした者。（帰住予定先を管轄する保健所が実施する。）

※2　支援計画作成ありとは支援対象者のうち、本人の同意が得られ計画を作成した者。

（４）管内精神科医療機関からの届出等

精神保健福祉法に基づき、管内医療機関から各種届出等が提出される。

表９－（４）管内精神科医療機関からの届出等件数

（単位：件）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
措置入院者の定期病状報告書	5	2	5
措置入院者の症状消退届	29	20	19
医療保護入院者の入院届	421	393	391
医療保護入院者の入院期間更新届	―	149	325
医療保護入院者の退院届	424	422	406
医療保護入院者の定期病状報告書	162	―	―
応急入院届	0	1	0
措置入院者転院申請書	0	5	0
仮退院許可申請書	0	0	0
再入院届	0	0	0

※1　「医療保護入院者の入院期間更新届」は、令和６年度より新設。

※2　「医療保護入院者の定期病状報告書」は、令和６年度より廃止。

（５）医療保護入院等のための移送（法第３４条）

精神保健指定医による診察の結果、精神障害者であり、かつ、直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障がある者であって、任意入院が行われる状態にない場合、家族等の同意があるときはその者を応急入院指定病院に移送し、精神障害者の医療及び保護を図ることとしている。

表９－（５）医療保護入院等のための移送対応状況

（単位：件）

	受付件数	診察件数	移送件数
令和５年度	0	0	0
令和６年度	0	0	0
令和７年度	0	0	0

（６） 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、保護観察所・医療機関主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。平成17年から同法が施行されたことに伴い、保健所においても各種会議への参加等が求められている。

表９－（６） 医療観察法に係る会議への参加　　（単位：件）

会議種別	CPA 会議	ケア会議	その他
参加回数	5	2	0

※「その他」は、CPA 会議(Care Programme Approach の略)とケア会議以外の会議に参加した件数を計上している。

（７） その他精神保健福祉関係

地域の実情に応じて、会議や研修会、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業における協議の場等を通じて、各関係機関との連携を深めている。

表９－（７）－ア　会議・講演会等開催

名称	開催日	参加人数（人）	対象者等
－	－	－	－

表９－（７）－イ　講師派遣

名称	日時	内容
－	－	－

表９－（７）－ウ　その他

名称	日時	内容
令和７年度山武圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議（実務者会議）	年度初月、奇数月開催(計７回)	精神障害を有する方等のニーズや地域課題を共有し、地域包括ケアシステム構築について協議・事業の展開。
令和７年度山武圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議（代表者会議）	令和８年 ２月 16 日	

表９－（７）－エ　組織育成・運営支援

（単位：件）

	当事者支援	家族会支援	支援者支援	その他
支援延件数	0	7	0	0

１０　肝炎治療特別促進事業

B 型ウイルス性肝炎及び C 型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成 20 年度からインターフェロン治療、平成 22 年度から核酸アナログ製剤治療の医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。平成 26 年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充された。なお、平成 23 年度から開始されたインターフェロン 3 剤併用療法については、プロテアーゼ阻害剤販売中止により令和 3 年 10 月に廃止された。

表１０－（１）肝炎治療特別促進事業受給者状況　　（単位：人）

治療 / 年度・市町	核酸アナログ製剤	インターフェロン	インターフェロンフリー
令和5年度	96	0	18
令和6年度	88	0	15
令和7年度	91	0	13
東金市	27	0	4
山武市	17	0	2
大網白里市	29	0	1
九十九里町	7	0	1
芝山町	2	0	2
横芝光町	9	0	3

１１　肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。

また、令和6年4月から助成の対象となる医療費についての月数要件が緩和され、自己負担額が高額療養費の基準を超えた月が過去24か月で1月以上ある場合、2月目以降は自己負担額が月1万円となった。

表１１－（１）肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況　（単位：人）

治療 / 年度・市町	肝がん	重度肝硬変	総数
令和5年度	0	0	0
令和6年度	0	0	0
令和7年度	4	0	4
東金市	2	0	2
山武市	1	0	1
大網白里市	1	0	1
九十九里町	0	0	0
芝山町	0	0	0
横芝光町	0	0	0

１２　難病対策事業

原因不明であって､治療方法が確立されていないため､長期にわたる療養が必要となり、高額な医療費の負担が必要となる難病に対し、医療費の自己負担分を助成している。対象は、難病法施行前の 56 疾患（特定疾患）から法制化後に徐々に拡大し、348 疾病（指定難病）となっている。

なお、指定難病に移行していない疾患については、特定疾患治療研究事業実施要綱に基づき、引き続き治療が必要な方の更新申請のみ受け付けている。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門職による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表１２－（１）特定疾患治療研究費受給者状況　　（単位：件）

年度・市町別 / 疾患名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	東金市	山武市	大網白里市	九十九里町	芝山町	横芝光町
総　数	1	1	1	1	0	0	0	0	0
スモン	1	1	1	1	0	0	0	0	0

表１２－（２）指定難病医療費助成制度受給者状況　　（単位：件）

年度・市町別 / 疾患名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	東金市	山武市	大網白里市	山武郡九十九里町	山武郡芝山町	山武郡横芝光町
総数	1,555	1,633	1,711	462	453	397	121	65	213
(001) 球脊髄性筋萎縮症	2	2	2	0	1	0	0	0	1
(002) 筋萎縮性側索硬化症	12	11	14	5	5	3	0	1	0
(003) 脊髄性筋萎縮症	1	1	1	0	1	0	0	0	0
(004) 原発性側索硬化症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
(005) 進行性核上性麻痺	14	15	24	6	5	10	3	0	0
(006) パーキンソン病	186	179	193	50	51	41	19	12	20
(007) 大脳皮質基底核変性症	6	2	4	1	2	0	0	0	1
(008) ハンチントン病	0	1	2	0	0	0	0	0	2
(011) 重症筋無力症	52	53	52	11	22	8	2	5	4
(013) 多発性硬化症／視神経脊髄炎	30	33	30	11	8	6	1	1	3
(014) 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	1	2	3	1	1	0	1	0	0
(015) 封入体筋炎	1	1	1	0	0	0	1	0	0
(016) クロウ・深瀬症候群	2	2	2	0	1	1	0	0	0
(017) 多系統萎縮症	11	12	12	2	3	2	2	1	2
(018) 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	34	34	34	9	5	9	4	2	5
(021) ミトコンドリア病	1	1	3	1	0	1	0	0	1
(022) もやもや病	22	20	15	4	6	3	0	0	2
(023) プリオン病	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(026) HTLV-1関連脊髄症	1	1	1	0	1	0	0	0	0
(028) 全身性アミロイドーシス	17	16	21	5	6	3	2	1	4
(030) 遠位型ミオパチー	1	1	2	0	2	0	0	0	0
(034) 神経線維腫症	11	11	11	4	4	1	0	0	2
(035) 天疱瘡	5	5	6	1	2	2	0	0	1
(036) 表皮水疱症	1	1	1	0	1	0	0	0	0
(037) 膿疱性乾癬(汎発型)	5	5	7	4	2	0	1	0	0
(038) スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	1	0	0	1	0	0	0
(039) 中毒性表皮壊死症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(040) 高安動脈炎	8	9	10	2	3	2	0	0	3
(041) 巨細胞性動脈炎	5	8	10	4	3	1	0	1	1
(042) 結節性多発動脈炎	4	5	4	1	0	3	0	0	0
(043) 顕微鏡的多発血管炎	27	30	34	10	14	6	2	0	2
(044) 多発血管炎性肉芽腫症	6	8	9	1	1	5	2	0	0
(045) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	18	22	6	6	3	2	1	4

(046) 悪性関節リウマチ	15	13	12	3	2	4	1	0	2
(047) バージャー病	2	1	1	1	0	0	0	0	0
(048) 原発性抗リン脂質抗体症候群	2	2	3	0	1	0	0	0	2
(049) 全身性エリテマトーデス	126	119	123	49	18	31	5	9	11
(050) 皮膚筋炎／多発性筋炎	41	41	43	10	12	11	2	1	7
(051) 全身性強皮症	46	47	48	16	6	14	4	3	5
(052) 混合性結合組織病	21	21	20	7	9	3	0	0	1
(053) シェーグレン症候群	25	32	30	10	6	4	2	2	6
(054) 成人発症スチル病	3	3	5	2	0	1	0	1	1
(055) 再発性多発軟骨炎	2	2	2	0	0	2	0	0	0
(056) ベーチェット病	36	43	44	10	8	16	3	0	7
(057) 特発性拡張型心筋症	22	26	30	5	8	6	2	2	7
(058) 肥大型心筋症	3	3	4	0	1	1	0	0	2
(059) 拘束型心筋症	0	1	1	0	0	0	0	0	1
(060) 再生不良性貧血	12	14	17	4	5	2	2	1	3
(061) 自己免疫性溶血性貧血	1	1	1	0	0	0	0	0	1
(062) 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	1	1	1	0	0	0	0	0
(063) 免疫性血小板減少症	26	32	31	2	11	8	2	1	7
(065) 原発性免疫不全症候群	2	2	2	1	0	0	0	1	0
(066) IgA腎症	21	19	22	8	6	6	0	1	1
(067) 多発性嚢胞腎	15	18	20	6	6	2	3	1	2
(068) 黄色靱帯骨化症	5	6	7	2	3	1	0	1	0
(069) 後縦靱帯骨化症	52	63	61	14	16	17	7	2	5
(070) 広範脊柱管狭窄症	2	1	2	0	0	0	0	0	2
(071) 特発性大腿骨頭壊死症	24	23	28	10	8	5	1	0	4
(072) 下垂体性ADH分泌異常症	2	2	2	2	0	0	0	0	0
(073) 下垂体性TSH分泌亢進症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(074) 下垂体性PRL分泌亢進症	3	3	3	0	1	2	0	0	0
(075) クッシング病	4	4	4	2	1	1	0	0	0
(077) 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	9	8	9	0	3	4	2	0	0
(078) 下垂体前葉機能低下症	19	21	20	6	4	4	3	1	2
(079) 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1	2	2	1	0	0	1	0	0
(084) サルコイドーシス	36	36	38	10	12	9	1	0	6
(085) 特発性間質性肺炎	49	69	62	13	25	16	3	0	5
(086) 肺動脈性肺高血圧症	3	3	3	1	2	0	0	0	0
(088) 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9	8	10	0	2	4	1	0	3
(089) リンパ脈管筋腫症	2	3	3	0	1	0	2	0	0
(090) 網膜色素変性症	36	34	28	10	13	1	1	0	3
(091) バッド・キアリ症候群	1	1	1	0	0	0	0	0	1
(093) 原発性胆汁性胆管炎	20	18	18	7	4	5	1	0	1
(094) 原発性硬化性胆管炎	1	2	0	0	0	0	0	0	0

(095) 自己免疫性肝炎	11	9	9	2	3	2	1	0	1
(096) クローン病	56	59	62	17	14	14	6	4	7
(097) 潰瘍性大腸炎	192	194	204	48	46	66	15	6	23
(098) 好酸球性消化管疾患	2	2	2	1	0	0	0	0	1
(107) 若年性特発性関節炎	0	1	3	1	1	0	0	0	1
(113) 筋ジストロフィー	3	3	2	1	1	0	0	0	0
(117) 脊髄空洞症	1	2	2	0	1	0	0	0	1
(118) 脊髄髄膜瘤	1	1	1	1	0	0	0	0	0
(127) 前頭側頭葉変性症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
(145) ウエスト症候群	2	2	2	1	1	0	0	0	0
(162) 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2	3	4	2	1	0	1	0	0
(167) マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	4	3	3	1	2	0	0	0	0
(171) ウィルソン病	1	1	1	0	1	0	0	0	0
(172) 低ホスファターゼ症	0	0	1	0	0	0	0	0	1
(210) 単心室症	2	2	2	1	1	0	0	0	0
(212) 三尖弁閉鎖症	1	1	1	0	0	0	0	0	1
(213) 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
(215) ファロー四徴症	0	1	1	0	0	0	0	0	1
(216) 両大血管右室起始症	1	1	2	0	1	1	0	0	0
(217) エプスタイン病	1	1	1	1	0	0	0	0	0
(220) 急速進行性糸球体腎炎	2	4	4	2	0	1	0	0	1
(222) 一次性ネフローゼ症候群	20	18	15	2	7	3	1	1	1
(224) 紫斑病性腎炎	1	4	5	0	1	3	1	0	0
(226) 間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	1	1	0	1	0	0	0	0
(227) オスラー病	2	2	3	0	0	2	0	0	1
(228) 閉塞性細気管支炎	1	1	1	0	0	0	1	0	0
(230) 肺胞低換気症候群	2	2	3	2	0	0	1	0	0
(235) 副甲状腺機能低下症	2	1	1	1	0	0	0	0	0
(238) ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	0	1	1	1	0	0	0	0	0
(257) 肝型糖原病	1	1	1	0	1	0	0	0	0
(266) 家族性地中海熱	0	1	0	0	0	0	0	0	0
(271) 強直性脊椎炎	9	11	9	2	2	2	0	1	2
(281) クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0	1	0	0	1	0	0	0
(283) 後天性赤芽球癆	0	1	1	0	0	0	1	0	0
(297) アラジール症候群	2	0	0	0	0	0	0	0	0
(300) IgG4関連疾患	3	9	7	6	0	0	0	0	1
(301) 黄斑ジストロフィー	0	0	1	0	1	0	0	0	0
(306) 好酸球性副鼻腔炎	35	45	55	16	17	7	1	1	13
(331) 特発性多中心性キャッスルマン病	4	7	7	1	0	4	1	0	1

（３）先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表１２－（３）先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況　（単位：人）

年度	総数	東金市	大網白里市	山武市	九十九里町	芝山町	横芝光町
令和５年度	7	2	2	2	1	0	0
令和６年度	7	2	2	2	1	0	0
令和７年度	7	2	2	2	1	0	0

（４）難病相談事業

ア　在宅療養支援計画策定・評価事業

要支援難病患者に対し、きめ細やかな支援を行うため、在宅療養支援計画の策定・評価を行う。ケアマネージャー等が主催する支援会議に出席している。

イ　訪問相談事業

（ア）訪問相談員派遣事業

表１２－（４）－イ－（ア）訪問相談員派遣事業実施状況

区分／年度	訪問相談員人数	回数	相談者	
			実人員	延人員
令和５年度	5	6	2	6
令和６年度	4	7	2	7
令和７年度	4	9	2	9

（イ）訪問相談員育成事業

表１２－（４）－イ－（イ）訪問相談員育成事業実施状況

区分／年度	月　日	主　な　内　容	職　種	人数
令　和 5 年度	令和５年 ６月９日	指定難病医療費助成制度について 難病相談事業について 事例検討（訪問相談員導入ケースについて、支援計画検討）	訪問相談員（保健師、看護師、作業療法士）	6名 （再掲訪問相談員2）
	令和５年 11 月９日	研修会 「難病について　みんなで知ろう！学びあおう！」 講演 「筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病について」 講師　成田赤十字病院　脳神経内科 医師　古川　彰吾　氏 説明1「成田赤十字病院で行う支援について」 講師　成田赤十字病院　医療社会事業課 説明2 「指定難病医療費助成制度と難病相談事業について」 講師　印旛保健所　地域保健課　保健師	介護支援専門員、社会福祉士、相談支援専門員等	当日137名 後日動画視聴総回数414回 ※印旛保健所の参加者・視聴回数含む

区分／年度	月　日	主　な　内　容	職　種	人数
		説明3 「難病患者さんへの障害福祉等制度について」 講師　佐倉市役所　障害福祉課 ※印旛山武地域難病相談支援センター、印旛保健所と共催		
令　和 6 年度	令和 6 年 5 月 14 日	指定難病医療費助成制度について 難病相談事業について 事例検討（訪問相談員導入ケースについて、支援計画検討）	訪問相談員（保健師、看護師）	4名 （再掲訪問相談員3）
	令和 7 年 1 月 9 日	研修会 「医療的ケアが必要な方の個別避難計画作成について」 講師　社会福祉法人りべるたす 千葉市中央区障害者基幹相談支援センター 伊藤　佳世　氏 ※印旛山武地域難病相談支援センター、印旛保健所と共催	介護支援専門員、社会福祉士、相談支援専門員等	当日60名 後日配信総視聴回数 364回
令　和 7 年度	令和 7 年 6 月 20 日	指定難病医療費助成制度について 難病相談事業について 事例検討（訪問相談員導入ケースについて、支援計画検討）	訪問相談員（保健師、看護師、作業療法士）	5名 （再掲訪問相談員3）
	令和 7 年 12 月 9 日	研修会 1　講演「山武・印旛地区の地域性からみる在宅ケアチームの防災対策」 講師　四街道まごころクリニック 看護師主任　湊　由美香　氏 2　講演「見た目に症状やその程度がわかりにくい患者さんたちの、災害時の備えと求める支援」 講師　NPO法人日本視神経脊髄炎患者会 スペシャルアドバイザー　深川　華代　氏 ※印旛山武地域難病相談支援センター、印旛保健所と共催	介護支援専門員、社会福祉士、相談支援専門員等	52名 後日配信総視聴回数 190回

ウ　医療相談事業

表１２－（４）－ウ　医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
令和7年 7月～9月 ※更新申請受付時期全13回	66名	山武保健所	神経筋疾患及び相談希望者	雇い上げ保健師が療養上の相談に対応する 方法：面接及び電話	14名
令和7年 11月7日	18名	東金市保健福祉センター	パーキンソン病	講演会 「今日から始めよう！安全に自分でできるリハビリテーション～言葉と体のリハビリテーション」 講師　成田赤十字病院　理学療法士 花澤　学　氏、山田　航平　氏 言語聴覚士　吉田　知世　氏 ※印旛山武地域難病相談支援センターと共催	11名
令和8年 3月13日	上映会 9名 動画総再生回数 209回	山武保健所	炎症性腸疾患	千葉県公式セミナーチャンネルによるオンデマンド配信及び動画上映会 1　講演「ステロイド剤の内服の注意点」 講師　成田赤十字病院 第一リウマチ・アレルギー内科 部長　平栗　雅樹　氏 2　講演「ステロイド治療中の骨を守る食事～今日からできる食事のポイント～」 講師　さんむ医療センター　栄養課 係長　盛　晃彦　氏	4名

エ　訪問指導事業

表１２－（４）－エ　訪問指導事業実施状況(疾患別)　　（単位：件）

疾患名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数	27	23	43
球脊髄性筋萎縮症	1	0	0
筋萎縮性側索硬化症	20	16	20
進行性核上性麻痺	0	0	5
パーキンソン病	1	0	3
大脳皮質基底核変性症	0	0	1
多発性硬化症	2	2	3
多系統萎縮症	0	2	4
皮膚筋炎/多発性筋炎	0	0	3
筋ジストロフィー	2	0	2
特発性拡張型心筋症	1	2	1
黄色靭帯骨化症	0	0	1
脊髄空洞症	0	1	0

オ　訪問診療等事業

表１２－（４）－オ　訪問診療等事業実施状況　（単位：人）

区分／年度	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実人員	延人員		専門医	主治医	看護師	理学療法士等	保健師	その他
令和５年度	0	0	－	－	－	－	－	－	－
令和６年度	0	0	－	－	－	－	－	－	－
令和７年度	0	0	－	－	－	－	－	－	－

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

カ　窓口相談事業

表１２－（４）－カ　相談内容　（単位：人）

内容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
相談者数（延）	290	341	326
申請等	184	250	226
医療	29	23	33
家庭看護	39	28	18
福祉制度	21	24	27
就労	5	10	9
就学	1	0	0
食事・栄養	3	1	1
歯科	0	0	0
その他	8	5	12

キ　難病対策地域協議会

表１２－（４）－キ　難病対策地域協議会実施状況

実施日	テーマ	構成員（職種）	延人数	内容
実施なし				

１３　受動喫煙対策

健康増進法の改正により、令和元年７月１日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となり、令和２年４月１日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、普及啓発に努めた。なお、既存の講習会等の機会を通じて受動喫煙対策の普及啓発に努めた。

表１３－（１）－ア　問合せ・苦情届出状況

区分／年度	件数	内訳				
		第一種施設	第二種施設	喫煙目的施設	旅客運送事業	規制対象外
令和５年度	7	0	5	0	0	2
令和６年度	4	0	4	0	0	0
令和７年度	8	1	7	0	0	0

表１３－（１）－イ　立入検査状況

区分／年度	件数	内訳				
		第一種施設	第二種施設	喫煙目的施設	旅客運送事業	規制対象外
令和５年度	0	0	0	0	0	0
令和６年度	0	0	0	0	0	0
令和７年度	0	0	0	0	0	0

１４　市町支援

管内市町が実施主体の地区組織育成、健康づくり推進協議会等に参加し、広域的、専門的な立場から支援を行った。

また、技術的支援として、要保護児童対策地域協議会の実務担当者会議や個別支援会議、保健師連絡会に担当者等が参加し、実践的な市町支援を行った。

（１）市町への支援状況

表１４－（１）市町への支援状況

項目＼市町	会議・連絡				技術的支援		
	会議名	回数	職種	主なテーマ	事業名	回数	職種
東金市	東金市健康づくり推進協議会	1	―	・「とうがね健康プラン 21（第 3 次）」の概要及び取組状況	東金市要保護児童対策地域協議会実務者会議	5	保 5
	東金市食生活改善会定期総会	1	課 1 栄 1	・令和 6 年度活動報告 ・令和 7 年度活動計画			
	東金市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福課1	・令和 6 年度活動報告 ・令和 7 年度活動計画			
山武市	山武市健康づくり推進協議会	1	医 1	・山武市第 2 次健康づくり計画の進行及び評価 ・山武市第 4 次健康増進計画スケジュール	山武市要保護児童対策地域協議会実務者会議	2	保 2
	山武市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福課1	・令和 6 年度活動報告 ・令和 7 年度活動計画			
	山武市保健推進員協議会総会	1	栄 1	・令和 6 年度活動報告 ・令和 7 年度活動計画			
大網白里市	大網白里市健康増進計画審議会	3	医 1	・第 2 次大網白里市健康づくり推進計画			
	大網白里市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福課1	・令和 6 年度活動報告 ・令和 7 年度活動計画			
九十九里町					九十九里町要保護児童対策個別支援会議	2	精 1

項目／市町	会議・連絡				技術的支援		
	会議名	回数	職種	主なテーマ	事業名	回数	職種
芝山町	芝山町要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福課1	・令和6年度活動報告 ・令和7年度活動計画	芝山町要保護児童対策地域協議会実務者会議	2	家2 婦2
横芝光町	横芝光町食生活改善普及会定例総会	1	課1 栄1	・令和6年度事業報告 ・令和7年度事業計画	横芝光町要保護児童対策地域協議会実務者会議	2	家2 婦2
	横芝光町健康づくり推進協議会	1	―	・令和7年度町保健事業実施状況 ・令和8年度町保健事業実施計画			
	横芝光町自殺対策連絡協議会	2	課2	・横芝光町自殺対策計画について	横芝光町要保護児童対策地域協議会個別支援会議	2	家3
	横芝光町要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福課1	・令和6年度活動報告 ・令和7年度活動計画			

※職種：医（所長）、福課（地域福祉課長）、課（地域保健課長）、保（保健師）、
看（看護師）、精（精神保健福祉相談員）、家（家庭相談員）、
婦（母子父子自立支援員兼女性相談支援員）、栄（管理栄養士）

※一部地域福祉課の支援についても掲載